

第9回市民説明会（オープンハウス・説明会）

【実施概要】

1. 日時・場所

8月28日（月曜日） 豊平区民センター（豊平区）

オープンハウス 13時00分 ～ 18時00分

説明会 18時30分 ～ 19時45分

2. 来場者数

100人程度（内訳：オープンハウス 約80人、説明会 約20人）

3. 当日の様子



4. オープンハウスでいただいた意見

〈期待の声〉

- ・ 1972年大会は非常に盛り上がったので、もう一度来るのは良いこと。税金を使ってでも開催した方が良い。
- ・ 市民に説明しているのは良い姿勢。内容が伝われば賛成者は増えると思う。
- ・ 税金が使われないことが初めて分かった。それであれば賛成。

- ・大会開催で多くのお金が札幌に落ちるので、開催は大事。
- ・大賛成。反対する理由が見つからない。

〈不安や懸念の声〉

- ・東京大会のような談合は、どんなに頑張っても起きる。ゼロにするには相当な努力をしないと厳しいが、どんなに監視しても目の届かないところはある。
- ・雪まつりと重なることが心配。
- ・本当に税金を投入しないで開催できるのか。
- ・談合等に動くお金は、アスリートの育成や遠征費に充て、競技の強化を行うべき。

5. 説明会でいただいた質問や意見

- ・オリンピックを招致する意義が見えてこない。
- ・札幌を世界にPRする手段は、オリンピック以外にも多くある。
- ・子どもに夢を与えるというが、まずは学校にクーラーを設置する等、子どもたちが安心して勉強できる環境を整えるべき。
- ・東京大会での税収効果/経済効果は検証されているのか。
- ・過去大会も当初の予算通りに収まってはいないが、本当に予算どおりに開催できるのか。
- ・東京大会でオリンピックのイメージが下がったが、そういった中で、北海道札幌で開催して本当にスポンサーが集まるのか。
- ・原則税金は投入しないというが、本当に税金を投入しないのか。また「原則」という言葉を外すべき。この言葉が賛否を作る。
- ・広告代理店を完全排除するのは不可能。行政が運営のノウハウを持っているのかは疑問であり、どうしても東京大会と同じような問題が生じる気がする。
- ・戦争や世界経済が不安定な状況の中で本当に開催できるのか。
- ・子どもに夢を与えられることを、札幌として考えていくべき。
- ・東京大会では当初の予定より新設会場が増えたが、札幌でも同じことが起きるのではないか。
- ・月寒団地の建替えの話があるが、今住んでいる人はどうなるのか。
- ・今の札幌があるのは、1972年に札幌オリンピックを開催したおかげ。今後

の札幌の発展は、オリンピックを開催することができるかにかかっている。

- ・住民投票にもお金がかかると思うが、そういったお金があるのであれば前向きにオリンピックに使ってほしい。
- ・2030年と2034年の2大会連続で札幌にて開催するのはどうか。
- ・これまでの招致活動の中でかけてきた経費はいくらなのか。
- ・直近の意向調査では、賛否がどのように分かれていたのか。
- ・住民投票にも多額の税金がかかるため、行う必要はない。
- ・IOCが決定した競技の数を札幌市や組織委員会が変更することはできるのか。
- ・共生社会の実現やバリアフリー化などはオリンピック・パラリンピックをやらなくても実現可能なのではないか。
- ・オリンピックに莫大なお金をかけて、その後市民がその借金を何十年もかけて払っていくことになるのではないか。